

平成25年度第7回移動市長室会議録

(平成25年10月 8日)

1 日 時：平成25年10月 8日（火）、10時～12時10分

2 場 所：山家9区公民館

3 出席者：

『山家地区』

宮原山家1区長、平山山家2区長、梶山山家3区長、神崎山家中央区長、
山内山家6区長、山田山家7区長、藤井山家8区長、小山田山家9区長、
山家地区社会福祉協議会、山家9区いきいきサロン、サロンボランティア
(36人)

『筑紫野市』

藤田市長、中村健康福祉部長、森総務課長、宗貞戦略企画課長、榎木秘書広報課長、
濱崎総務担当係長、堀尾総務課主任、日野広報広聴担当係長、松隈秘書広報課主任

4 内容：団体の現状と課題などについての懇談

○（事務局） 平成25年度第7回移動市長室を開催させていただきます。

本日の懇談は、お手元の次第のとおりに進めさせていただきます。

藤田市長の挨拶、藤井代表区長の挨拶、出席者の自己紹介、懇談、質疑応答、市長による山家地区に関する平成25年度筑紫野市の主な事業の説明、御礼の順番でまいります。

懇談は、山家ふれあいいきいきサロン、1区から9区までの活動内容についてお話をさせていただきます。懇談内容は、会議録を作成して公表いたします。また、撮影した写真は市の広報紙やホームページに掲載させていただきます。御了解をお願いいたします。

有意義な懇談会となりますよう、どうぞ最後までよろしくをお願いいたします。

まず初めに、藤田市長が皆様に御挨拶を申し上げます。

○（藤田市長） 皆さん、おはようございます。

平成25年度7回移動市長室が開催できましたことを、心から厚く感謝申し上げます。藤井代表区長を初め、各行政区の区長、山家地区社会福祉協議会、福祉委員の方々など、開催に大変御尽力をいただきましたことを深く感謝を申し上げます。本年の移動市長室は、特色ある取り組みなどを行っている、地域の方のお話を伺いし、それを市政に生かしていくこと、また市民の皆さんに市政を身近に感じていただくことを目的に実施をしており、今回で通算27回目となります。

今日は体操があると聞いており、どんな体操をやるのかと思って来たんですけども、田中さんの指導のもとでスムーズに体操ができました。体操体験をさせていただいた、山家9区いきいきサロンの活動を含め、山家地区社会福祉協議会を中心に活動してあります各行政区のいきいきサロンについての説明を受けまして、懇談をする予定ですが、いろいろな活動における課題などもお聞かせをいただきながら、実のある懇談をさせていただきたいと思っておりますので、どうぞ最後までよろしくをお願いいたします。

○（事務局） 続きまして、藤井代表区長、よろしくお願いいたします。

○（藤井山家8区長） 本日は、藤田陽三市長をはじめ、市関係者の皆様においでいただき、また、山家地区に御指名を賜りましたことに心よりお礼申し上げます。

後ほど、山家地区社会福祉協議会の皆さんより活動報告がなされますが、地域においての仲間づくり、健康づくり、福祉の推進がしっかりなされていることを見て、聞いていただきたいと思います。

○（事務局） 藤井区長、ありがとうございました。

続きまして、出席者の自己紹介を行います。まず、市側から行います。

本日、司会進行を務めさせていただきます、秘書広報課の楢木と申します。最後までよろしく願いいたします。

- （中村健康福祉部長） 4月から健康福祉部長を務めております中村と申します。
- （総務課） 4月から総務課課長を拝命しております森と申します。
- （事務局） 秘書広報課の広報広聴担当の日野と申します。
- （戦略企画課） 戦略企画課の宗貞と申します。
- （総務課） 総務課の総務担当の濱崎と申します。
- （総務課） 総務課の総務担当の堀尾と申します。
- （事務局） 秘書広報課の松隈と申します。
- （事務局） 続きまして、山家の皆様よろしく願いいたします。
- （宮原山家1区長） 山家1区、区長の宮原と申します。
- （福祉委員） 山家1区の福祉委員の平島です。
- （平山山家2区長） 山家2区の区長の平山です。
- （福祉委員） 山家2区の福祉委員の平山です。
- （梶山山家3区長） 山家3区の区長の梶山です。
- （福祉委員） 山家3区の福祉委員の山崎です。
- （福祉委員） 山家3区の福祉委員の西永です。
- （神崎山家中央区長） 山家中央区の区長の神崎です。
- （福祉委員） 山家中央区の福祉委員の松原です。
- （山内山家6区長） 山家6区の区長の山内です。
- （山田山家7区長） 山家7区の区長の山田です。
- （福祉委員） 山家7区の副福祉委員の橋口です。
- （藤井山家8区長） 山家8区の区長の藤井です。
- （福祉委員） 山家8区の福祉委員の安武です。
- （小山田山家9区長） 山家9区の区長の小山田です。
- （サロンボランティア） いきいきサロンのボランティアの水城です。
- （サロンボランティア） いきいきサロンのボランティアの古賀です。
- （サロンボランティア） いきいきサロンのボランティアの田中です。
- （福祉委員） 山家9区の福祉委員の平山と申します。
- （民生委員） 民生委員と福祉委員をしています平島です。

- （山家地区社会福祉協議会） 山家地区社会福祉協議会の会計の砥綿です。
- （山家地区社会福祉協議会） 山家地区社会福祉協議会の事務局長の砥綿です。
- （山家地区社会福祉協議会） 山家地区社会福祉協議会会長の高嶋です。
- （山家地区社会福祉協議会） 山家地区社会福祉協議会副会長の平山です。
- （コミュニティセンター館長） 山家コミュニティセンター館長の鬼木です。
- （サロンボランティア） いきいきサロンのボランティアの河野です。
- （9区サロン） 山家9区の倉掛です。
- （9区サロン） 山家9区の前田です。
- （9区サロン） 山家9区の福住です。
- （9区サロン） 山家9区の松原です。
- （9区サロン） 山家9区の深町です。
- （9区サロン） 山家9区の砥綿です。
- （9区サロン） 山家9区の田中です。
- （9区サロン） 山家9区の斎藤です。
- （9区サロン） 山家9区の浦山です。
- （9区サロン） 山家9区の塚本です。
- （事務局） どうもありがとうございました。

それでは懇談に入りたいと思います。

まず、山家ふれあいいきいきサロンの1区から9区までの活動内容につきまして、お話をお願いいたします。

- （山家地区社会福祉協議会） 司会をいたします平山でございます。

それでは、山家ふれあいいきいきサロンの活動状況。それぞれの区で特徴あるところを紹介していただければと思います。

1区の福祉委員、平島さんお願いいたします。

- （福祉委員） 平成25年度の年間計画を発表します。

4月8日、1区合同のお花見、甕冠神社でお花見でした。

5月21日、室内ゲームをしております。

6月18日、地域包括支援センターちくしの荘に講師を依頼して、夏の健康管理の講話を開催しております。

7月29日、山家地区社協主催の、いきいきサロン合同健康推進事業に参加しております。

す。場所はカミーリヤでした。

8月20日、ヤクルト健康セミナーを山家1区公民館で開催しております。

9月17日、麻生ビジネススクールに講師を依頼し、山家1区公民館で転倒防止教室を開催しております。

10月29日、バスハイクを予定しています。

11月19日、深野楽器店による介護予防音楽レクリエーションの予定です。

12月17日、山家1区公民館にて恒例のクリスマス会をします。

1月21日、2月18日は、山家1区公民館で茶話会を予定しております。

3月18日、バスハイクの予定です。

以上です。

○（山家地区社会福祉協議会）引き続き、2区福祉委員の平山さんお願いいたします。

○（福祉委員）月に2回程度、グランドゴルフをしています。雨が降ったときは、カミーリヤから道具を借りてきて公民館で室内競技をしています。ただ、公民館に行くためには、階段を30段ほど上らないといけないため、高齢者が雨の日に階段を上るのが大変なので、区長にも要望してなんとかならないかと思っています。

グランドゴルフはとても好評で、そのときに、イスに座って懇親会、茶話会のようなこともやっています。

グランドゴルフに来られる方で、少し認知症の入った方がおられますが、その方が都合よくホールインワンを2回ほどされて、とても笑顔で喜んでおられました。順番とか関係なしに打たせてあげたんですけれど、なかなか喜んでくれていました。

マイナス点は、グランドゴルフができるところが山手のほうにありますが、距離があるため、そこでグランドゴルフをする場合は足の悪かったりする人は、迷惑かけるからということで参加されないことが、このごろ特に増えてきました。その点も一つ解決しなければならぬかなというふうに感じています。

以上です。

○（山家地区社会福祉協議会）少ない人数で、活発な活動をされています。

次は、3区福祉委員の山崎さん、お願いいたします。

○（福祉委員）資料にあるとおり、毎月1回、第2木曜日の10時から11時に活動しています。年に1回、4月の気候のいいときに外で行事を行います。また、年に2回バスハイクを予定しています。3月には、お弁当を皆さんと一緒に食べながら、次年度の計画な

どを話しています。それ以外は、いろいろな物づくりをしたり、講習会を行っています。

私がこのサロンに携わり始めて、ボランティアのときから数えると11年目ぐらいになりますが、当時のメンバーもずっと引き続き参加していただいています。ただ、サロンの中でも高齢化が進んでおり、次の世代の方たちの参加が、ちょっと足踏み状態にはなっています。

高齢化の問題といえば、認知症ことも、やっぱり大事に勉強していかないといけないと思います。この11年の間に、認知症の症状がでたため退会された方も2、3名出ていらっしゃいます。認知症がでると、まわりに遠慮されて、迷惑かけるからってということで退会されるんです。先日、市が開催された、認知症についての大牟田市の取り組みを話される講習会に参加したなかで、町ぐるみでの認知症の方も一緒に安心して暮らせるまちづくりについて話がありました。これからは、軽い認知症ぐらいの場合は遠慮しないで来られるような、認知症の方の協力もいるだろうけど、サロンの内容をちょっと考えていかなければいけないのかなと思っています。

○（山家地区社会福祉協議会） 3区から、今までの蓄積で貴重な意見をありがとうございました。

引き続き、中央区。中央区は、山家で一番人口が多いところですが、その中でいろいろな方を集めるのが大変御苦労なさっていると思います。

松原さんお願いいたします。

○（福祉委員） 中央区の年間行事計画についてです。

4月は、お助け訪問で、軽い運動とゲームをしました。

また、4月25日に、バスハイクで糸島方面に行き、メガソーラーなどを見学しまして、アロマ工房でハンドクリームづくりをしています。

5月8日、音楽療法。深野楽器店によるものです。

6月12日、小物づくりを行い、和紙で木イチゴをつくりました。

7月、消費者被害の防止と筋力体操、これはちくしの荘から講師に来ていただきました。

また、7月29日に、老人会といきいきサロンの合同事業でカミーリヤに行きました。

8月は、お休みしました。

9月は、レクリエーションとして、茶道体験をしました。

10月18日に、体と心づくりということで、管理栄養士講話と健康体操をします。

11月、毎年お正月のお飾りを作っており、今回は、ミニ門松づくりを行います。

また、11月29日は、バスハイクです。宗像でミカン狩りを予定しています。

12月は生け花を予定していますが、ちょっと予算が足りないかなと思い、検討中です。

1月は、新年会で、お楽しみ会、ビンゴゲームなどをします。

2月は、季節のカードづくりで、ボランティアバンクさんに頼んでいます。

3月12日は、1年の反省と、次年度の計画を立てます。そのほか、レクリエーションなどを行っています。

○（山家地区社会福祉協議会） ありがとうございます。

6区のいきいきサロンの説明を、山内区長お願いいたします。

○（山内山家6区長） 皆様のお手元に配付されております資料の年間行事計画でございますが、4月から7月につきましては実施しております。8月、9月、10月については、事情により計画を中止しております。

11月以降については、ボランティアの皆さんとお話をしながら、実施したいと、このように思っております。

○（山家地区社会福祉協議会） 7区について、前福祉委員の橋口さんに説明をお願いいたします。

○（福祉委員） 私が関わり始めたのは8年前ですが、そのころは、結構人数がおり、今の倍以上はいました。年々少なくなって、やっぱり高齢化で亡くなられたり、体調不良、寝たきりとかそういう方が次々と出てきています。

7区のサロンの一番の特徴は、男性が多いことです。前からそうなんですけど、女性と男性の比率は半々ぐらいで、夫婦で来られることが多い。

先月、ペーパークラフトで、かごづくりをしました。今回3回目ですが、最初は、男性の方が、かごをつくられるかなと思って、ちょっと心配だったんですけど、みんな喜ばれています。自分のつくったかごなので、仕上げで喜んで持って帰られます。結構皆さん楽しませております。

皆さんが一番楽しみにしてあるのは、バスハイクですけど、年に1回です。

7区のサロンは、2カ月に1度しかやっていませんので、できたら1月に1度やりたんですけど、ちょっとそれは厳しいです。そして、参加人数が少なくなっていることや、ボランティア、お世話がなされる方が少ないのが心配です。

○（山家地区社会福祉協議会） ありがとうございます。

ほかの区にとっても男性の参加を増やす、いい意見で、参考にしたいと思います。

続きまして、8区、福祉委員安武さんお願いいたします。

○（福祉委員） お手元の資料に年間計画が載っています。

他の区と違うところは、児童公園の草取りをしたり、グループホームが8区にございますので慰問、交流を毎年やっております。

今年も9月20日にグループホームに行きましたが、とても好評でした。さるびあ会の皆さんが音楽をやっていただいて、アンコールもありましたし、自分たちも一緒に歌って、手をたたいて、ちょっと時間が足りないぐらいでした。お手玉を使った玉入れゲームをしましたが、それも途中で切り上げないといけないぐらいでした。皆さん和気あいあいと、寝たきりの方も職員の方が支援してくださって、ほとんど全員で楽しい交流を毎年やっています。これは、8区の誇りです。

それと、子供たちとの交流会を年2回やっています。七夕とクリスマスの時期です。いつもは、サロン活動を毎月第3金曜日に開催しておりますが、このときは、子供中心ということで、第1土曜日に開催しています。今、地域の子供会はあまり活発ではないようですが、保護者の方とコンタクトをとって、2歳ぐらいの子から来ていただいております。

皆様が楽しみにされているのが、バスハイクです。秋は10月21日、もう少しで行きます。参加者を募ると、ほとんど全員参加されます。今年もにぎやかに、唐津の方へ行く予定です。

8区は、歴史は2番目か3番目ぐらいのサロンではないかと思っております。

○（山家地区社会福祉協議会） 次は、9区の福祉委員の平山さん、お願いいたします。

○（福祉委員） 9区のサロンですけれども、去年、市から10年表彰を受けました。会員は、全員で大体三十数名いらっしゃいますが、いつも出席されるのは20名程度です。会費を、1回ごとに100円いただいております。月に2回開催しており、1回は外部の講師の方に来ていただいたりして講義などをし、2回目は今日のように健康体操をしています。

年間行事のなかで、皆さん、バスハイクを楽しみにしてあって、年に2回開催しています。今年の5月は、佐賀城に行って見学し、佐賀県庁の最上階のレストランで食事をしました。眺めが非常によく、気分転換になったと思います。

6月に、市の安全安心課の職員さんに来ていただいて、防災に関する話をさせていただいたんですけども、やっぱり市だけでは、災害が来た場合隅々まで手が回らないので、地域でコミュニケーションをとって、ひとり暮らしの人などへ声かけをしてくださいという要望がありました。

毎回サロンを開催した後、30分程度お茶飲みとか、会食をしています。普段は近所の様子がなかなか耳に入らないんですけども、この30分の間に、近所に泥棒がでた話や訪問販売に注意したほうがいいといったこと、サロンのサポーターの方に野菜作りのアドバイスをしたりと、いろいろな話をしており、交流ができていいと思っています。

○（山家地区社会福祉協議会） ありがとうございます。

今後とも、市のいろんな御指導をいただきながら、サロン活動を進めたいと思います。

各区の福祉委員さんは、山家地区社会福祉協議会の福祉部員でもいらっしゃいます。その山家地区社会福祉協議会の福祉部の部長で、また山家コミュニティ運営協議会の健康福祉部の部長でもいらっしゃいます、西永さんから説明を、ちょっと短時間でお願いしたいと思います。

○（福祉委員） 私ども健康福祉部では、山家地区連合老人クラブといきいきサロンの合同で、市の健康推進課及び筑紫野市社会福祉協議会の御指導と御協力をいただいて、高齢者の健康推進を図るための事業を行っています。第1回目を去年の10月、第2回目を今年7月に実施しました。場所はカミーリヤです。

老人クラブの方々と、いきいきサロンの参加者、そしてどちらにも属してない75歳以上の高齢者の方を対象に、保健師、管理栄養士による健康福祉相談、大腸がん検診キットの説明と配付、タッチパネルなどを使った脳のトレーニング、NPO法人福岡県レクリエーション協会専務理事の佐藤靖典先生による健康講話、それから介護予防、ケア、または、介護予防体操を中心とした体力に応じたレクリエーションを行いました。参加いただいた皆様に非常に好評で、来年度以降も計画実施していく予定です。

いきいきサロンの活発な活動で、老人会の参加者が減るなんて言われたりすることもあるんですけども、この事業を行うことで両者和気あいの雰囲気づくりになって、役立つという大きな利点もあったんじゃないかなと思います。

○（山家地区社会福祉協議会） 以上で、いきいきサロンの説明を終わります。

○（事務局） 1区から9区の皆さん、どうもありがとうございました。

せっかくですので、サロンに日頃参加して一番の楽しみなど、そういった生の声をお聞きしたいと思っておりますが、9区の方に御発表いただけませんかでしょうか。

○（9区サロン） 私は独り身なので、話し相手がいないため、近くの情報とか遠いところの情報でもサロンに来ればわかりますので、その情報を楽しみにして、健康にも気をつけて寝たきりにはならないように、80歳でもこういうふうに来ております。

○（9区サロン） サロンに来て、いろいろと運動したり、そして食事が出るんです。それを一つの楽しみにしております。皆さんとお会いして、いろいろとお話するのが一番楽しいです。

○（9区サロン） 2週間に1回、孫の世話などから抜け出せるので、癒されます。

○（9区サロン） 本当にボランティアの方が真剣に教えていただけますので、高齢者としては本当、嬉しく思っております。

○（事務局） 9区の方の生の声をお聞きすることができました。今後ともずっと楽しいサロンが続くようお願いしたいと思います。

今日は山家地区社会福祉協議会の事務局の方にもお越しいただいております。筑紫野市内で地区社協があるのは、山家地区だけということです。

山家地区社会福祉協議会の役割について、また、サロンに対してどのような支援をなさっているのかを教えてくださいてもよろしいでしょうか。

○（山家地区社会福祉協議会） 本来ならば、校区社協とって、それぞれの地域に社協があったほうがいいのですが、今のところ山家地区だけです。山家地区は、やっぱり昔からまとまっていて、校区社協をつくることができましたと思います。

区長会の全面的な協力のもとにいろいろな事業を展開しており、それぞれの地域の活動が円滑にいくように各区のサロンの助成や、先ほど説明があった筑紫野市社会福祉協議会と市の健康推進課の全面的な協力のもとに行った老人会・いきいきサロン合同事業を行っています。これは100名を超える参加があり、大変盛大に行いました。

課題になっているのは、山家地区の高齢化です。山家地区の65歳以上の人口は、今年の4月1日現在、26.22%で、市の19.95%に対して非常に高齢化率が高い。今後の高齢化率は、まだまだ進んでいくと思われます。

老人も大切ですが、子供たちの子育ていきいきサロンもやっています。昨年立ち上げ、2回目を迎えました。

それから、学校や福祉事業に対する助成等も、山家地区の地域からの助成をいただきながら福祉事業に対する、学校の福祉事業や子供会活動などに対する助成等も推進しています。

○（山家地区社会福祉協議会） ここ数年で山家の全部の地区に、いきいきサロンができています。筑紫野市社会福祉協議会が推進されたということもありますが、山家地区社会福祉協議会として、各サロンの参加人数に応じた補助金を出すということで、サロンを立ち

上げていただいています。山家の各区にサロンができたのは、山家地区社会福祉協議会の後押しの効果も結構あったのではないかなと思っております。

今、山家コミュニティ運営協議会ができて、その中に健康福祉部があり、山家地区社会福祉協議会も老人会クラブも福祉に関わるものとして一緒になっていますが、どう活動内容を整理していくかが課題です。コミュニティ運営協議会はまだできたばかりですので、その辺のところは難しいと感じています。

あとは、会計的なもので、赤い羽根募金の助成も減ってきており、筑紫野市社会福祉協議会からいただく補助金も少し減らされてきておりまして、収入は減ってきています。いきいきサロンが全区にでき、参加される方の人数も以前に比べたら多くなったことは喜ばしいことですが、高齢者の方の人数がふえましたので、なかなかお金の補助が十分にできなくなって、サロンへの助成を少し減額させていただきをお願いせざるを得ないような部分が出てきていますので、その辺がちょっと困っているかなというところではあります。

○（事務局） どうも、ありがとうございました。しっかりとした山家地区社会福祉協議会、そういった土台があって、各地区のサロン活動の繁栄につながっているのだと思います。

続きまして、皆様方からの御要望をお受けいたしたいと思っております。

○（山内山家6区長） 6区の区長の山内です。バスハイクをする場合に筑紫野市社会福祉協議会の福祉バスを予約しようとしても、他の予約と重なって、希望の日程でバスの予約がとれないことがあります。いきいきサロンに参加されている方は、非常にバスハイクを楽しみにされていますので、バスの増車をお願いできませんでしょうか。

○（事務局） この件につきまして、総務部長の代理といたしまして、総務課長の森から回答させていただきます。

○（総務課） 先ほどの活動報告にもありましたように、それぞれの行政区で1年に1回か2回は、バスハイクを企画してあるようです。年間計画を見ておきますと、10月、11月というのは、やはり皆さん季節的に一番いい時季ですので、集中しているような感じがいたしました。

サロン活動を目的に無料でバスを借りることができますのは、先ほどおっしゃってあった、筑紫野市社会福祉協議会が行っている福祉バスの貸し出しがございまして。

市、あるいは商工会におきましても、バスを保有しておりますが、まず、市のバスにつきましては公務用であり、市の業務に関する使用というのが原則となっております。また、商工会のバスは、商工会の会員の方が対象であり、地域への貸し出しは行っていないとの

ことでした。

筑紫野市社会福祉協議会が行っているバスの貸し出しにつきましては、昨年度の年間貸し出し件数は162件でした。月別にみると、やはり10月、11月は、ほぼ毎日利用されている状況であり、20件を超える利用があります。そして、そのほかの月は比較的余裕があるといった状況です。また、運転手を除くと25人しか乗車ができないといった人数制限もございます。

そういった状況がございますので、今年度初めに筑紫野市と筑紫野市社会福祉協議会との間で協議を行い、貸し出しを行なっているマイクロバス以外に、8人乗りのワンボックス車も貸し出していただけるようにしたところです。

このワンボックス車の貸し出しにつきましては、運転される方の年齢や運転技術、日ごろから運転をされているかどうか、行き先の道に詳しいかどうか、そういったことを総合的に判断することが必要になってきますので、詳細につきましては筑紫野市社会福祉協議会に御相談くださいとのことです。

筑紫野市社会福祉協議会のバスと8人乗りのワンボックス車を合わせて御検討いただければと思っております。

- （山内山家6区長） カミーリヤの巡回福祉バスを、利用させてもらうわけにはいかないでしょうか。
- （森総務課長） 巡回するコースが定まっておりますので、それを運用するというのは、ちょっと難しいと思います。
- （事務局） 続きまして、2番目の要望事項についてどうぞよろしくお願いたします。
- （福祉委員） 西鉄バスで朝倉街道など行く際に、必ず山家道で乗りかえないといけません。通院や買い物に行くのに不便ですので、カミーリヤ福祉バスを利用できないのかなという意見がサロンの方から出ています。

それと、介護保険料について、金額が国から決められているとは思いますが、地域である程度幅があるとのことですが、高いと感じている方も多いので、その辺りの話を聞きたいと思っております。

- （事務局） この2点につきまして、健康福祉部長の中村が回答いたします。
- （中村健康福祉部長） まず、バスの利用についてですが、カミーリヤの巡回福祉バスは、平成10年11月にカミーリヤが開館したときに、利用者の利便性を図ることを目的に無料で運行を始めさせていただきました。開館当初は、福祉バスの対象者はカミーリヤを利

用する高齢者、障害者の方に限定しておりましたが、その後、平成15年から、健康診査等でカミーリヤを利用される方も、利用可能になりました。そして、平成22年9月からは、コミュニティセンターや生涯学習センターなどの市の公共施設を利用される方についてもバスに乗れるように、利用者枠の拡大を図ってきております。

しかしながら、カミーリヤの巡回福祉バスは、近隣市町で運行している有料のコミュニティバスとは運行目的が違い、また、西鉄バスの運行路線が競合するところが多いということで、通勤、通学、買い物等での利用というのは、まだ西鉄バスとの協議が整っておりません。今後も、カミーリヤの巡回福祉バスの利便性の向上を図ってまいりたいと思っておりますので、運行の趣旨を御理解いただきたいと思っております。

もちろん、生活交通を確保することは市の重要な課題ですので、例えば西鉄バスの上西山線について、路線を維持し地元の交通手段の確保のため、赤字補填として1500万円を西鉄バスに支払っています。今後も、県や交通利用者間との連携を図りながら、交通手段の確保や利便性に努めてまいりますので、御協力と御理解をよろしくお願いいたします。

続いて、介護保険についてですが、介護保険料は各自治体の65歳以上の高齢者の数と、必要な介護サービスの見込料によって決まり、3年に1度、見直しが行われます。全国的に高齢化が進み、介護サービスの給付費も増大しているため、介護保険料も見直しのたびに高くなっているというのは、全国的な傾向でもあります。そのような中、皆さまには介護保険料を御負担していただいて、本当に御礼申し上げます。

現在、当市において皆様に納めていただいております介護保険料は、月額が4837円を基準額としており、それぞれの世帯の収入状況などにより、負担額を10段階に分けております。この段階というのは、国では6段階ですが、市の裁量によって10段階に分けさせていただいており、より各世帯の状況にあわせた負担となるよう図っているところでございます。

この基準額については、福岡県平均は6465円、全国平均は4970円なので、それよりは安いということにはなっています。

若干ではありますけれども、当市の介護保険料が国や県の平均より低いのは、元気な高齢者の方が多いからではなかろうかと推測しております。介護保険料は、その自治体での介護サービスに要する費用が少なくなれば安くならないという仕組みになっておりますので、高齢の方が元気で過ごしていただけることが肝心ということになります。

本日、御説明いただいたサロン活動は、まさに高齢の方の元気のもとであろうと思っ

おります。結果として、介護が必要になる人が減り、介護保険料を抑えることにもつながると思っております。

次回の介護保険料などの改正が、平成27年度に予定されております。現在、国では増大する介護費用を抑制するために、さまざまな施策を検討しており、市としても国の動向を注視しながら、今後も高齢者の皆様が、元気で健康に過ごせるように取り組みを考えていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○（事務局） その他に、市政に対して意見などがある方はいらっしゃいませんか。

○（山内山家6区長） 市長さんにはお願いです。筑紫野市役所の庁舎ですが、他の自治体の庁舎と比べるまでもなく、大変老朽化が進んでいるため、できるだけ早く立派な庁舎をつくっていただきたいと思っております。

○（藤田市長） 市役所の庁舎は、建ってから大体75年たっています。建った当時は立派な庁舎でしたが、老朽化もしていますし、プレハブで増設している状況です。

過去にも新しい庁舎を建てようということで、基金を積んだり、候補地を探したりしたこともあったようです。

現在は、新市庁舎建設のための内部で検討を行っているところです。平成23年に市民アンケートを取ったことがあり、70%以上の方が建てかえに賛同されていました。

市役所庁舎建設については検討を行っている段階ですので、何らかの方針をお示しできるのはもう少し先のお話にはなりますが、何年後かにはこういう場で話ができるようになるだろうと思っております。

○（事務局） それでは、最後に藤田市長から平成25年度の筑紫野市の施策概要と山家地区に関係する主な事業などの説明をさせていただきます。

○（藤田市長） まずは、予算ですが、一般会計の歳出予算の内訳を申し上げます。

この中で一番大きい割合を占めておりますのが、民生費で、子供や高齢者、障害者などの福祉に使われるものです。予算額の38%を占めており、約120億5000万円でございます。昨年と比べますと、生活保護事業費や介護給付費等、私立保育所運営委託料が増えています。

次が、土木費。道路や公園等の補修や建設に使っており、予算額が約46億3000万円、全体の14.6%を占めています。JR二日市駅地区整備事業、筑紫駅西口土地地区画整理事業、筑紫公園整備事業、そして新たに実施します、天拝公園周辺整備事業が増額になっています。

公債費は、市の借金を返済するものですが、約 3 4 億円、全体の 1 0 . 7 % を占めています。

総務費は、行政の運営や戸籍、税金の徴収などに使われます。予算額は約 3 2 億円、全体の 1 0 . 1 % を占めています。

衛生費は、健康診断、予防接種、ごみ処理などに使われており、予算額が約 2 8 億 6 0 0 0 万円で、全体の 9 % を占めています。

教育費は、教育や文化・スポーツなどに使っており、予算額は約 2 3 億 7 0 0 0 万円。

最後にその他は、議会や農業、商工業、消防などに使われる予算で、約 3 1 億 8 0 0 0 万円、全体の 1 0 % です。

一般会計の総予算額は、約 3 1 7 億円となっています。

以上が、平成 2 5 年度の一般会計の歳出予算です。

次に、山家地区に関するものですが、山家地区は、一昨年が山家宿開設 4 0 0 年、そして昨年が長崎街道開通 4 0 0 年という歴史的に大きな節目の年でした。慶長 1 6 年、西暦 1 6 1 1 年に桐山丹波によって開設された山家宿には、当時、年間数万人が往来する九州最大の官道、長崎街道がとおり、長崎から届く異国の文化や、江戸の文化を運ぶ長崎街道とともに山家宿は繁栄し、そしてまた、長崎街道と日田街道が交差する、交通の要衝としても発展しました。この交通の要衝という性格が、近世以降の本市の発展を支えてまいりました。

西構口、郡屋跡、大庄屋役宅跡、下代跡地など、山家地区の歴史的、文化的遺産は、山家の史跡等を守る会をはじめ、地域の活動によって守られており、現在もなお、宿場町の面影を残しております。山家地区の皆さん方の、地域を守るという思いがここに伝わっていると思っております。

山家地区に関する主な施策を幾つか説明します。

上西山線運行補助金として、予算額は 1 5 0 0 万円です。市民の生活交通手段を確保することで生活の利便性を向上させるため、バス事業者へ補助金を交付することにより、廃止対象であった上西山線のバス運行を継続してまいります。

次に、山家コミュニティセンターの改修事業。予算額 1 9 4 0 万円です。コミュニティ活動の拠点である、山家コミュニティセンターの大研修室と会議室の壁を可動式にし、広いスペースが必要なときは一体的に使用できるようにいたしました。

次に、コミュニティ運営協議会補助金として、予算額 1 6 0 万円です。組織化された地

域コミュニティ運営協議会へ補助金を交付することで、地域コミュニティ運営協議会の自立を促し、区域における問題や課題を自主的に解決できるよう支援し、組織力を高めてまいりたいと思っています。山家地区は、平成23年に筑紫野市で初めてコミュニティ運営協議会が設立されており、現在、市内で運営協議会を設立しているのは、山家地区と御笠地区でございます。

次に、市民協働事業、予算額が389万3000円です。市内における公共的課題を、市民と行政、市民と企業、企業と行政が対等な立場で、協働により事業を実施して解決するものでございます。毎年度19件程度の市民協働のモデル事業が実施されており、山家蛍の会の皆さんもこの事業を利用されております。

次に、災害時の避難所充実として、第2次避難所の山家小学校を含む、各小学校に災害時の避難に備えて、リヤカーや車椅子、ガソリン缶、ライト、発電機、ラジオなど17品目の備品を設置いたします。

次に、生徒指導総合推進事業として、予算額が1852万7000円です。生徒指導のための、心の教室相談員、不登校対策専任指導員、不登校生徒適応指導員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーといった人材を配置し、不登校対策など強化しております。

次は、山家幼稚園預かり保育運営費補助金、予算額は559万4000円です。山家幼稚園での教育時間前及び終了後に、満3歳から小学校就学前の山家幼稚園園児を対象に行います。山家地区の保育機関の一部を担い、就労などにより長時間の保育を必要とする保護者を支援します。

次に、筑紫野市通学合宿事業、予算額が20万円です。今年度も、平成23年、24年度に引き続き、山家地区と光が丘区が実施いたしました。この事業は、子供たちに学校の下校から登校までの共同生活の場を提供しながら、日常的な生活習慣を身につけさせます。子供たちが親元を離れ、公民館で寝泊まりし、自分たちで話し合い、勉強し、自分たちで調理したものを食べる。このようなことを経験することで、責任感や思いやり、感謝の心を身につけていくことを期待しているところであります。

そして、市全域にかかわることになりますが、筑紫野市では地域コミュニティの再編を進めております。市内を7つの区域に分け、それぞれコミュニティセンターを拠点施設としながら、地域の中核となる自治組織をつくるというものでございます。本年度からは、それぞれの地域で各種団体を交えた学習会を開催しております。

山家地区は既にコミュニティ運営協議会を設立、組織化されており、藤井代表区長をはじめ、各区長の皆さん、自治会の皆さんには、これからも市民協働のまちづくりにご協力をいただきますようお願いいたします。

以上が、平成25年度予算、そして山家地区で実施する事業です。いろいろな事業がございますが、皆様の御協力を今後ともよろしくお願い申し上げます。

本日は、このように、たくさんの皆さん方にお集まりいただき、地域のいろいろなお話を聞かせていただくことができました。

山家地区は、高齢化率が進んでいるところではございますけれども、お話を聞いておきますと、それぞれが地域を大事にしながら、それぞれの地域で活性化を図る営みがなされておりました、非常にうれしく感じました。山家地区は歴史と文化の宝庫でございます。今後とも、この地域が皆さん方の力によりまして、なお一層発展していきますように、市といたしましても最善を尽くしてまいりたいと思っております。

今、この山紫水明の地である山家にお住まいの皆様にとって、非常に大きな関心、心配事は、産業廃棄物処理施設についてのことだと思います。

私もこの問題には最初から関わっていますが、昨年12月に住民の皆様から福岡県へ意見書が提出されており、その意見書の件数は約8000件にのぼります。これだけの数の意見書が提出されたことは、住民の皆様の強い思いが込められているわけでございます。

現在、県では意見書の中身を整理して、事業所に対し、地域にどのような説明をするのか、見解書を作成するよう指示がなされた段階です。見解書が提出されれば、市としても、環境保全上の意見書を出すことができますので、市民の意見を尊重しながら、見解書の内容により判断してまいりたいと考えております。

山家地区や御笠地区をはじめ、市民の方たちの産廃に対する関心は非常に大きなものであり、しっかりとしたスタンスで取り組んでいきたいと思っております。

以上でございます。御清聴ありがとうございました。

○（事務局） 以上をもちまして、本日の日程を終了させていただきます。

どうもありがとうございました。